

1. 北海道

A. 医療提供体制の現状

北海道の特徴は、(1)全道的に潤沢な病床と看護師、拠点となる地域に集中した医師、(2)面積が広いため、医療機関が広い範囲をカバーしていること、(3)札幌以外に、旭川、函館、室蘭、帯広、釧路、砂川、北見などに医療拠点となる都市が点在していることである。

(1) 病院比率の高い体制、全道的に潤沢な病床と看護師、拠点となる地域に集中した医師

北海道全体の人口当たりの「病院数」の偏差値は 60 と病院は多いが、「診療所数」の偏差値は 42 と低く、病院比率の高い医療提供体制である。「病院総病床数」も多く、偏差値 60 を超える医療圏も多い。介護を必要とする高齢者向けの「総高齢者ベッド数」も、全道にわたり高齢者施設ベッドが整えられている。

一方、「総医師数」の偏差値は 48 であり、「病院勤務医」の偏差値は 52、「診療所医師数」の偏差値は 42 であり、診療所医師数の少なさが際立っている。総医師数の偏差値 50 を超えている医療圏は、札幌、上川中部(旭川)の2つのみであり、他の医療圏は 50 を切っている。特に日高、富良野、宗谷、根室の医療圏は偏差値 40 を切っており、医師不足の特に激しい地域である。人口当たりの診療所医師数が少ないのは、南檜山(江差)、北渡島檜山(長万部)、中空知(砂川)、日高(浦河)、上川北部(名寄)、富良野、宗谷、遠紋(紋別)、釧路、根室であり、偏差値は 35 を切っている。

「総看護師数」が 59 と、全国平均を大きく上回っている。総看護師数も全道的に充実しており、南檜山 47、日高 43、富良野 48、留萌 49、宗谷 47、根室 41 を除けば、全ての医療圏で偏差値 50 を超えている。特に、南渡島(函館)、北渡島檜山(長万部)、西胆振(室蘭)、札幌、北空知(深川)、中空地(砂川)、上川中部(旭川)の北海道西部と釧路は、総看護師数に関しても偏差値 60 を超えている。

「全身麻酔数」の偏差値は 61 と非常に高いが、全国平均の 50 を上回るのは、南渡島(函館)、札幌、中空地(砂川)、西胆振(室蘭)、上川中部(旭川)、上川北部(名寄)、十勝(帯広)、釧路の 8 医療圏のみであり、これらの地域に高機能病院が集中している。

(2) 面積が広いため、医療機関が広い範囲をカバーしている

人口密度が 50 人/km²を下回っている医療圏が、各地に広がっている。これらの地域では、数十キロに一つ程度、町立や国保の病院が存在し、地域医療を担っている。一方、名寄、帯広、釧路などの都市を除けば、高度医療を必要とする入院患者が発生した場合、数十キロから 100 キロ以上離れた基幹病院まで患者を搬送する必要があることが北海道の医療の大きな特徴と言える。地域レベルの病院は、数十キロ範囲の地域の患者を、基幹病院は数百キロ範

圏の地域の患者を診療対象として運営されている。

(3) 札幌以外に、医療拠点となる都市が点在している

北海道は、医療を含め、「札幌一極集中」の印象が強いが、医療に関しては札幌以外に複数の拠点が道内に存在している。札幌医療圏には、全道の43%の人口が集中しているが、総高齢者ベッドの36%、病床数および一般病床の45%、病院勤務医の50%、全身麻酔の54%、看護師数の43%が集中しており、病床数や看護師数はほぼ人口見合い、医師数や全身麻酔数は軽度の集中傾向がみられる。

一方、南渡島（函館）、西胆振（室蘭）、中空地（砂川）、上川中部（旭川）、上川北部（名寄）、北網（北見・網走）、十勝（帯広）、釧路などに、地域の基幹病院が存在し、南渡島（函館）、西胆振（室蘭）、中空地（砂川）、上川中部（旭川）などは、人口当たりでみると、札幌と引けをとらない医療資源が存在している。

以上をまとめると、北海道は人口当たりの病院は多いが、診療所数は少なく、病院優位の医療提供体制である。病床と看護師は全道的に全国水準を超えるレベルで整備されているが、医師不足の地域が多いことが北海道の特徴と言える。全身麻酔数の偏差値50を超える南渡島（函館）、札幌、中空地（砂川）、西胆振（室蘭）、上川中部（旭川）、上川北部（名寄）、十勝（帯広）、釧路の基幹病院に医師が集まり、他の地域は機能レベルの高くないが比較的潤沢な病床を有する町立や国保の病院を、数少ない医師数と比較的潤沢な看護師数により運営されている様子が見えてくる。過疎地域で高度医療を必要とする入院患者が発生した場合、数十キロから100キロ以上離れた基幹病院まで、救急車やヘリコプターを用いて患者を搬送している。

B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

（南渡島）

南渡島（函館）は、人口約40万人、面積2,670/km²、人口密度は約150人/km²の都市型二次医療圏である。道南三次医療圏の中核都市であり、南檜山・北渡島檜山の患者を受け入れている。南渡島には、年間全麻件数が2,000件を超える函館五稜郭病院、函館中央病院、1,000件を超える市立函館病院（救命救急、DPCⅡ群）がある。

人口当たりの総病床数の偏差値は63（一般病床66、療養病床53、精神病床60）、総医師数が47（病院勤務医数49、診療所医師46）、総看護師数63、全身麻酔数59であり、急性期病床の過剰感が強い。

2010→40年の総人口が35%減少、75歳以上の高齢者は17%増であり、医療の総需要は16%減、0-64歳の医療需要は48%減である。急性期病床の削減を検討する必要があるだろう。

(南檜山)

南檜山（江差）は、人口約 3 万人、面積 1,423/km²、人口密度は約 20 人/km²の過疎型二次医療圏である。1,000 km²を超え、人口密度も 20 人/km²以下であり、拠点病院までの移送が大変な地域である。南檜山には、道立江差病院などがあるが、南渡島（函館）への医療依存が強い。

人口当たりの総病床数の偏差値は 60（一般病床 64、療養病床 61、精神病床 46）、総医師数が 36（病院勤務医数 40、診療所医師 30）、総看護師数 47、全身麻酔数 38 と人口当たりの病床数、一般病床数、総看護師数が多く、病院勤務医数と全身麻酔数が少なく、収容型の医療が提供されている。人口当たりの診療所医師数は、日本で二番目に少ない。

この地域は 2010→40 年に 5 割近く人口が減少し、大幅な施設強化が難しいので、現在の医療提供水準の維持し、南渡島（函館）との医療ネットワークの強化が望まれる。

(北渡島檜山)

北渡島檜山（長万部）は、人口約 4 万人、面積 2,474/km²、人口密度は約 20 人/km²の過疎型二次医療圏である。2,000 km²を超える大きな医療圏であり、人口密度も 100 人/km²以下であり、拠点病院までの移送が大変な地域を抱える医療圏である。北渡島檜山には国立病院機構八雲病院などがあるが、南渡島（函館）への医療依存が強い。

人口当たりの総病床数の偏差値は 79（一般病床 85、療養病床 82、精神病床 49）、総医師数が 42（病院勤務医数 51、診療所医師 25）、総看護師数 66、全身麻酔数 38 と人口当たりの病床数、一般病床数、総看護師数が多く、病院勤務医数と全身麻酔数が少なく、収容型の医療が提供されている。人口当たりの診療所医師数は、日本で一番低い。高度急性期の医療が必要な場合、南渡島（函館）に依存している。

この地域は 2010→40 年に 4 割近く人口が減少し、大幅な施設強化が難しいので、現在の医療提供水準の維持し、南渡島（函館）との医療ネットワークの強化が望まれる。

(札幌)

札幌は、人口約 234 万人、面積 3,540 km²、人口密度は 660 人/km²の大都市型二次医療圏である。札幌は、道央三次医療圏の中核都市であると同時に、北海道の医療の中心であり、全道より多くの患者が訪れる。札幌には、北海道大学（946 床、全麻 3,000 件以上）と札幌市立大学（938 床、全麻 4,000 件以上、救命救急）がある。またその他に、全麻が年間 4,000 件を超える手稲溪仁会病院（救命救急、DPCⅡ群）、年間 2,000 件を超える市立札幌病院（救命救急）、北海道整形外科記念病院、札幌厚生病院、恵佑会札幌病院、年間 1,000 件を超える病院だけでも 10 病院あり、急性期医療機関の密集地域である。

北海道の医療資源は全国水準より高く、更に札幌はその平均より高いので、札幌の人口当たりの総病床数の偏差値は 62（一般病床 64、療養病床 58、精神病床 55）、総医師数の偏差値が 53（病院勤務医数 56）、全身麻酔数 70、総看護師数 60 と、高い水準にある。

札幌は 2010→40 年にかけて総人口 12%減、75 歳以上の高齢者 119%増であり、医療の総需要 30%増、0-64 歳の医療需要 33%減、75 歳以上の高齢者医療需要 119%増である。急性期

病床は、一部亜急性、回復期、療養などへの転換が望ましい。また、今後激増する高齢者向けの医療施設やケア付き住宅の大幅な強化が必要である。

(後志)

後志(小樽)は、人口約23万人、面積4,306/km²、人口密度は約50人/km²の地方都市型二次医療圏である。4,000km²を超える大きな医療圏であり、人口密度も100人/km²以下であり、拠点病院までの移送が大変な地域を抱える医療圏である。後志には、年間全麻件数が500件を超える市立小樽病院、小樽病院、250件を超える倶知安厚生病院などがあるが、札幌への医療依存の傾向が強い。

人口当たりの総病床数の偏差値が64(一般病床54、療養病床62、精神病床66)、総医師数が43(病院勤務医数43、診療所医師45)、総看護師数58、全身麻酔数48と病床数、看護師数が多いが、医師数、全身麻酔数が少なく、収容型の医療が提供されている。

総医療需要は26%減、0-64歳の医療需要は5割以上減少するので、現在多い病床の削減の検討が必要であろう。

(南空知)

南空知(夕張)は、人口約18万人、面積2,563/km²、人口密度は約70人/km²の過疎型二次医療圏である。2,000km²を超える大きな医療圏であり、人口密度も100人/km²以下であり、拠点病院までの移送が大変な地域を抱える医療圏である。南空知には、年間全麻件数が500件を超える北海道中央労災病院がある。南空知は札幌への依存が強い。

人口当たりの総病床数の偏差値が58(一般病床51、療養病床58、精神病床59)、総医師数が42(病院勤務医数43、診療所医師40)、総看護師数56、全身麻酔数45と、病床数、看護師数が多いが、医師数、全身麻酔数が少なく、収容型の医療が提供されている。

総医療需要は21%減、0-64歳の医療需要は5割以上減少するので、現在多い病床の削減の検討が必要であろう。

(中空知)

中空知(砂川、滝川)は、人口約12万人、面積2,161/km²、人口密度は約50人/km²の過疎型二次医療圏であり、拠点病院までの移送が大変な地域を抱える医療圏である。中空知には、年間全麻件数が1,000件を超える砂川市立病院、年間全麻件数が500件を超える滝川市立病院がある。

人口当たりの総病床数の偏差値が81(一般病床61、療養病床74、精神病床88)、総医師数が47(病院勤務医数54、診療所医師33)、総看護師数72、全身麻酔数59と、日本の過疎地で最も医療の充実した地域の一つである。一方、診療所は非常に少ない。

今後総医療需要は28%減、0-64歳の医療需要は5割以上減少するので、急性期病床の過剰に対する検討が必要である。

(北空知)

北空知（深川）は、人口約 4 万人、面積 1,067/km²、人口密度は約 30 人/km²の過疎型二次医療圏である。北空知には深川市立病院などがあるが、上川中部（旭川）への依存が強い。

人口当たりの総病床数の偏差値が 99（一般病床 63、療養病床 93、精神病床 106）、総医師数が 47（病院勤務医数 50、診療所医師 42）、総看護師数 74、全身麻酔数 37 と、病床数、看護師数が非常に多いが、全身麻酔数が少なく、収容型の医療が提供されている。

総医療需要は 30%減、0-64 歳の医療需要は 5 割以上減少するので、現在多い病床の削減の検討が必要であろう。

(西胆振)

西胆振（室蘭）は、人口約 20 万人、面積 1,356/km²、人口密度は約 150 人/km²の地方都市型二次医療圏である。西胆振には、全身麻酔年間 1,000 件を超える製鉄記念室蘭病院、市立室蘭総合病院、日鋼記念病院があり、他に年間 500 件を超える伊達赤十字病院がある。

人口当たりの総病床数の偏差値が 80（一般病床 65、療養病床 79、精神病床 75）、総医師数が 48（病院勤務医数 53、診療所医師 38）、総看護師数 69、全身麻酔数 63 と、非常に充実した医療が提供されている。

更に、2010→40 年にかけて総人口が 32%減少、総医療需要 17%減、0-64 歳の医療需要 41%減なので、過剰状態に対する対策は避けて通れない。

(東胆振)

東胆振（苫小牧）は、人口約 22 万人、面積 2,342/km²、人口密度は約 90 人/km²の地方都市型二次医療圏である。2,000 km²を超える大きな医療圏であり、人口密度も 100 人/km²以下であり、拠点病院までの移送が大変な地域を抱える医療圏である。東胆振には、全身麻酔年間 1,000 件を超える王子総合病院、500 件を超える苫小牧市立病院などがある。

人口当たりの総病床数の偏差値が 53（一般病床 49、療養病床 55、精神病床 52）、総医師数が 43（病院勤務医数 44、診療所医師 41）、総看護師数 56、全身麻酔数 48 と、医学部の無い地方都市としては、充実した医療が提供されている。

2010→40 年の総医療需要が 4%増、0-64 歳が 36%減、75 歳以上が 48%増なので、一般病床を高年齢者対応病床に一部転換する方向で、今後の対応が可能と思われる。

(日高)

日高は、人口約 8 万人、面積 4,812/km²、人口密度は約 20 人/km²の過疎型二次医療圏である。2,000 km²を超える大きな医療圏であり、人口密度も 100 人/km²以下であり、拠点病院までの移送が大変な地域を抱える医療圏である。日高には浦河赤十字病院などがあるが、東胆振（苫小牧）や札幌への依存が強い。

人口当たりの総病床数の偏差値が 52（一般病床 44、療養病床 56、精神病床 54）、総医師数が 37（病院勤務医数 40、診療所医師 35）、総看護師数 43、全身麻酔数 37 と、医師数も看護師数も非常に少なく、北海道で最も医療資源の少ない地域である。診療所も非常に少ない。

2010→40年の総医療需要が20%減であるが、現在の危機的な状況を乗り切るために、病院医師派遣などの即効性の高い対策の実施が望まれる。

(上川中部)

上川中部(旭川)は、人口約40万人、面積4,238/km²、人口密度は約100人/km²の地方都市型二次医療圏である。旭川は、道北三次医療圏の中核都市である。上川中部には、旭川医科大学(602床、全麻3,000件以上)、全身麻酔年間2,000件を超える旭川赤十字病院(救命救急)、旭川厚生病院、年間1,000件を超える市立旭川病院がある。上川北部、留萌、北空知、富良野などから多くの患者が訪れる。

人口当たりの総病床数の偏差値が64(一般病床70、療養病床60、精神病床52)、総医師数が57(病院勤務医数61、診療所医師45)、総看護師数66、全身麻酔数67と、非常に充実した医療が提供されている。旭川市内の過剰感は強い。

この地域の2010→40年の総人口が29%減、周辺地域は更に人口減少が激しいことを考えると、将来に向けた過剰に対する対策を考える必要があるだろう。

(上川北部)

上川北部(名寄)は、人口約7万人、面積4,197/km²、人口密度は約20人/km²の過疎型二次医療圏である。4,000km²を超える大きな医療圏であり、人口密度も100人/km²以下であり、拠点病院までの移送が大変な地域を抱える医療圏である。上川北部には、年間全身麻酔500件を超える名寄市民病院があり、宗谷や留萌の患者を数多く受け入れている。

人口当たりの総病床数の偏差値が57(一般病床60、療養病床58、精神病床48)、総医師数が43(病院勤務医数48、診療所医師34)、総看護師数55、全身麻酔数56と、道北の医療を支えている。診療所は非常に少ない。

ある水準の医療を維持するには、ある程度の規模が必要なので、今後のこの地域及び周辺の人口減少を考えると、現状の機能を維持することが目標である。2010→40年の総医療需要が22%の減少であるが、現在の危機的な状況を乗り切るために、病院医師派遣などの即効性の高い対策の実施が望まれる。

(富良野)

富良野は、人口約5万人、面積2,184/km²、人口密度は約20人/km²の過疎型二次医療圏である。2,000km²を超える大きな医療圏であり、人口密度も100人/km²以下であり、拠点病院までの移送が大変な地域を抱える医療圏である。富良野には、年間全身麻酔250件を超える富良野病院があるが、上川中部(旭川)への医療依存が強い。移送に2時間以上を擁することもあり、ヘリコプターによる移送が行われることも少なくない。

人口当たりの総病床数の偏差値が54(一般病床51、療養病床53、精神病床55)、総医師数が39(病院勤務医数42、診療所医師34)、総看護師数48、全身麻酔数43と、病床数と看

看護師数が多いが、病院勤務医数と全身麻酔数が少なく、収容型の医療が提供されている。診療所も非常に少ない。

この地域の総医療需要が1~2割減少するので、集約とネットワークを基本に地域の医療機能を維持することが求められる。

(留萌)

留萌は、人口約6万人、面積4,020/km²、人口密度は約10人/km²の過疎型二次医療圏である。4,000 km²を超える大きな医療圏であり、人口密度も100人/km²以下であり、拠点病院までの移送が大変な地域を抱える医療圏である。留萌には、年間全身麻酔250件を超える留萌市立病院があるが、上川中部（旭川）や札幌への医療依存が強い。移送に2時間以上を擁することもあり、ヘリコプターによる移送が行われることも少なくない。

人口当たりの総病床数の偏差値が55（一般病床56、療養病床59、精神病床46）、総医師数が41（病院勤務医数44、診療所医師36）、総看護師数49、全身麻酔数37と、病床数と看護師数が多いが、医師数と全身麻酔数が少なく、収容型の医療が提供されている。

この地域の総医療需要が1~2割減少するので、集約とネットワークを基本に地域の医療機能を維持することが求められる。

(宗谷)

宗谷は、人口約7万人、面積4,051/km²、人口密度は約20人/km²の過疎型二次医療圏である。4,000 km²を超える大きな医療圏であり、人口密度も100人/km²以下であり、拠点病院までの移送が大変な地域を抱える医療圏である。宗谷には、年間全身麻酔500件を超える市立稚内病院があるが、医療機関と医療機関の間が数十キロ離れ、患者の移送に大きな労力を要する。川上北部（名寄）や上川中部（旭川）への医療依存が強いが、2時間以上を擁することもあり、ヘリコプターによる移送が行われることも少なくない。

人口当たりの総病床数の偏差値が49（一般病床53、療養病床50、精神病床44）、総医師数が35（病院勤務医数40、診療所医師29）、総看護師数47、全身麻酔数39と、病床数と看護師数が多いが、病院勤務医数と全身麻酔数が少なく、収容型の医療が提供されている診療所も非常に少ない。

この地域の総医療需要が2割程度減少するので、集約とネットワークを基本に、名寄や旭川との連携を中心に医療機能を維持することが求められる。

(北網)

北網（北見、網走）は、人口約23万人、面積5,542/km²、人口密度は約40人/km²の地方都市型二次医療圏である。5,000 km²を超える大きな医療圏であり、人口密度も100人/km²以下であり、拠点病院までの移送が大変な地域を抱える医療圏である。北見はオホーツク三次医療圏の中核都市である。北網には、年間全身麻酔1,000件を超える北見赤十字病院（救命救急）、年間全身麻酔500件を超える網走厚生病院がある。人口当たりの総病床数の偏差値が56（一

般病床 62、療養病床 53、精神病床 48)、総医師数が 42 (病院勤務医数 47、診療所医師 36)、総看護師数 58、全身麻酔数 49 と、病床数、病院勤務医数、看護師数、全身麻酔数と充実しているように見えるが、北見や網走の急性期病院を除けば、収容型の医療が提供されている。

この地域の総医療需要が 1 割程度減少するので、集約と地域内のネットワークの強化を基本に、現在の医療機能を維持することが求められる。

(遠紋)

遠紋は、人口約 8 万人、面積 5,148/km²、人口密度は約 10 人/km²の過疎型二次医療圏である。5,000 km²を超える大きな医療圏であり、人口密度も 100 人/km²以下であり、拠点病院までの移送が大変な地域を抱える医療圏である。遠紋には、年間全身麻酔 500 件を超える遠軽厚生病院がある。高度な医療は、上川中部 (旭川) や北網 (北見) への依存が強いが、2 時間以上を擁することもあり、ヘリコプターによる移送が行われることも少なくない。

人口当たりの総病床数の偏差値が 60 (一般病床 58、療養病床 72、精神病床 43)、総医師数が 41 (病院勤務医数 46、診療所医師 32)、総看護師数 54、全身麻酔数 45 と、人口当たりの病床数と看護師数は多いが、病院勤務医数と全身麻酔数が少なく、収容型の医療が提供されている。診療所も非常に少ない。

この地域の総医療需要が 2 割程度減少するので、集約とネットワークを基本に、旭川や北見との連携を中心に医療機能を維持することが求められる。

(十勝)

十勝 (帯広) は、日本で一番大きな医療圏であり、人口約 35 万人、面積 10,828/km²、人口密度は約 30 人/km²の地方都市型二次医療圏である。10,000 km²を超える大きな医療圏であり、人口密度も 100 人/km²以下であり、拠点病院までの移送が大変な地域を抱える医療圏である。帯広は、十勝三次医療圏の中核都市である。十勝には、年間全身麻酔 2,000 件を超える帯広厚生病院 (救命救急、DPC II 群)、年間 1,000 件を超える帯広病院、北斗病院、年間 250 件を超える帯広第一病院などがある。

人口当たりの総病床数の偏差値が 53 (一般病床 62、療養病床 51、精神病床 44)、総医師数が 42 (病院勤務医数 46、診療所医師 37)、総看護師数 55、全身麻酔数 54 と、医学の無い地方都市としては、充実した医療が提供されている。

2010→40 年の医療の総需要は 4%増、0-64 歳は 37%減である。今後、一般病床を高年齢者対応病床に一部転換する対策が必要になるだろう。また帯広以外の地域は、集約と地域内のネットワークの強化を基本に、帯広との連携を中心に医療機能を維持することが求められる。

(釧路)

釧路は、日本で二番目に大きな医療圏であり、人口約 25 万人、面積 5,997/km²、人口密度は約 40 人/km²の地方都市型二次医療圏である。5,000 km²を超える大きな医療圏であり、人口密度も 100 人/km²以下であり、拠点病院までの移送が大変な地域を抱える医療圏である。釧路は、釧路・根室三次医療圏の中核都市である。釧路には、年間全身麻酔 1,000 件を超える市立釧

釧路総合病院（救命救急）、釧路赤十字病院、釧路労災病院、500件を超える釧路孝仁会記念病院などがある。

人口当たりの総病床数の偏差値が59（一般病床64、療養病床58、精神病床48）、総医師数が42（病院勤務医数47、診療所医師33）、総看護師数61、全身麻酔数71と、医学の無い地方都市としては、非常に充実した医療が提供されている。診療所は非常に少ない。

2010→40年の医療総需要は、13%減、0-64歳は50%減である。今後、急性期病床の過剰に対する対策が必要になるだろう。また釧路以外の地域は、集約と地域内のネットワーク強化を基本に、釧路との連携を中心に医療機能を維持することが求められる。

（根室）

根室は、人口約8万人、面積3,540/km²、人口密度は約20人/km²の過疎型二次医療圏である。2,000km²を超える大きな医療圏であり、人口密度も100人/km²以下であり、拠点病院までの移送が大変な地域を抱える医療圏である。根室には、市立根室病院や町立中標津病院があるが、釧路への依存が強い。

病床の人口当たりの総病床数の偏差値が43（一般病床40、療養病床46、精神病床50）、総医師数が34（病院勤務医数38、診療所医師28）、総看護師数41、全身麻酔数39と、非常に少ない北海道でも最も医療密度の低い医療圏である。診療所も非常に少ない。

2010→40年の医療の総需要は4%減、0-64歳は41%減と北海道では減少が少ない方であるが、現在の危機的状況を緩和するために、早急に医療提供体制の強化が必要である。

表 1-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口密度	地域タイプ	高齢 化率	2010→40年 総人口 増減率	2010→40年 75歳以上 人口増減率
全国	128,057,352		372,903		343.4		23%	-16%	58%
北海道	5,506,419	8位	78,459	1位	70.2		25%	-24%	57%
南渡島	402,525	7%	2,670	3%	150.8	地方都市型	27%	-35%	17%
南檜山	26,282	0%	1,423	2%	18.5	過疎型	33%	-50%	-8%
北渡島檜山	41,058	1%	2,474	3%	16.6	過疎型	31%	-40%	-4%
札幌	2,342,338	43%	3,540	5%	661.7	大都市型	21%	-12%	119%
後志	232,940	4%	4,306	5%	54.1	地方都市型	31%	-41%	-3%
南空知	181,886	3%	2,563	3%	71.0	過疎型	31%	-40%	11%
中空知	118,662	2%	2,161	3%	54.9	過疎型	33%	-44%	-1%
北空知	35,706	1%	1,067	1%	33.5	過疎型	36%	-46%	-2%
西胆振	200,231	4%	1,356	2%	147.6	地方都市型	30%	-32%	14%
東胆振	216,058	4%	2,342	3%	92.3	地方都市型	23%	-22%	58%
日高	75,321	1%	4,812	6%	15.7	過疎型	27%	-38%	11%
上川中部	403,246	7%	4,238	5%	95.1	地方都市型	27%	-29%	45%
上川北部	71,630	1%	4,197	5%	17.1	過疎型	31%	-35%	1%
富良野	45,489	1%	2,184	3%	20.8	過疎型	27%	-29%	18%
留萌	55,782	1%	4,020	5%	13.9	過疎型	31%	-46%	1%
宗谷	70,770	1%	4,051	5%	17.5	過疎型	27%	-37%	19%
北網	233,658	4%	5,542	7%	42.2	地方都市型	26%	-30%	42%
遠紋	76,351	1%	5,148	7%	14.8	過疎型	31%	-40%	3%
十勝	348,597	6%	10,828	14%	32.2	地方都市型	25%	-22%	55%
釧路	247,320	4%	5,997	8%	41.2	地方都市型	25%	-36%	37%
根室	80,569	1%	3,540	5%	22.8	過疎型	23%	-27%	50%
出典	<2010年人口>平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年 <2040年人口>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

表 1-2 病院数、診療所施設数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 施設数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,605		6.7	(4.0)	99,547		78	(19.4)
北海道	579	6.7%	10.5	60	3,377	3.4%	61	42
南渡島	38	7%	9.4	57	300	9%	75	48
南檜山	5	1%	19.0	81	14	0%	53	37
北渡島檜山	7	1%	17.0	76	15	0%	37	29
札幌	237	41%	10.1	59	1,519	45%	65	43
後志	25	4%	10.7	60	169	5%	73	47
南空知	20	3%	11.0	61	110	3%	60	41
中空知	17	3%	14.3	69	64	2%	54	38
北空知	6	1%	16.8	75	25	1%	70	46
西胆振	21	4%	10.5	59	105	3%	52	37
東胆振	18	3%	8.3	54	111	3%	51	36
日高	8	1%	10.6	60	47	1%	62	42
上川中部	44	8%	10.9	61	280	8%	69	46
上川北部	8	1%	11.2	61	39	1%	54	38
富良野	5	1%	11.0	61	24	1%	53	37
留萌	7	1%	12.5	65	36	1%	65	43
宗谷	9	2%	12.7	65	44	1%	62	42
北網	27	5%	11.6	62	106	3%	45	33
遠紋	13	2%	17.0	76	31	1%	41	31
十勝	34	6%	9.8	58	200	6%	57	39
釧路	23	4%	9.3	56	111	3%	45	33
根室	7	1%	8.7	55	27	1%	34	27
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 1-3 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,571,473		1,228	(474)	126,031		98	(106)
北海道	97,417	6.2%	1,769	61	7,225	5.7%	131	53
南渡島	7,491	8%	1,861	63	643	9%	160	56
南檜山	443	0%	1,686	60	59	1%	224	62
北渡島檜山	1,074	1%	2,616	79	35	0%	85	49
札幌	41,903	43%	1,789	62	2,844	39%	121	52
後志	4,393	5%	1,886	64	545	8%	234	63
南空知	2,909	3%	1,599	58	338	5%	186	58
中空知	3,211	3%	2,706	81	153	2%	129	53
北空知	1,260	1%	3,529	99	0	0%	0	41
西胆振	5,298	5%	2,646	80	142	2%	71	47
東胆振	2,920	3%	1,351	53	341	5%	158	56
日高	981	1%	1,302	52	66	1%	88	49
上川中部	7,704	8%	1,910	64	723	10%	179	58
上川北部	1,123	1%	1,568	57	48	1%	67	47
富良野	646	1%	1,420	54	57	1%	125	53
留萌	809	1%	1,450	55	76	1%	136	54
宗谷	826	1%	1,167	49	38	1%	54	46
北網	3,494	4%	1,495	56	378	5%	162	56
遠紋	1,298	1%	1,700	60	72	1%	94	50
十勝	4,856	5%	1,393	53	383	5%	110	51
釧路	4,046	4%	1,636	59	235	3%	95	50
根室	732	1%	909	43	49	1%	61	46
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月			

表 1-4 診療所施設数（全体、無床、有床）

二次医療圏	診療所 施設数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床診療 所施設数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床診療 所施設数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	99,547		78	(19.4)	89,613		70	(18.9)	9,934		7.76	(6.9)
北海道	3,377	3.4%	61	42	2,874	3.2%	52	41	503	5.1%	9.1	52
南渡島	300	9%	75	48	258	9%	64	47	42	8%	10.4	54
南檜山	14	0%	53	37	9	0%	34	31	5	1%	19.0	66
北渡島檜山	15	0%	37	29	13	0%	32	30	2	0%	4.9	46
札幌	1,519	45%	65	43	1,318	46%	56	43	201	40%	8.6	51
後志	169	5%	73	47	131	5%	56	43	38	8%	16.3	62
南空知	110	3%	60	41	86	3%	47	38	24	5%	13.2	58
中空知	64	2%	54	38	54	2%	46	37	10	2%	8.4	51
北空知	25	1%	70	46	24	1%	67	49	1	0%	2.8	43
西胆振	105	3%	52	37	95	3%	47	38	10	2%	5.0	46
東胆振	111	3%	51	36	91	3%	42	35	20	4%	9.3	52
日高	47	1%	62	42	41	1%	54	42	6	1%	8.0	50
上川中部	280	8%	69	46	228	8%	57	43	52	10%	12.9	57
上川北部	39	1%	54	38	35	1%	49	39	4	1%	5.6	47
富良野	24	1%	53	37	19	1%	42	35	5	1%	11.0	55
留萌	36	1%	65	43	32	1%	57	43	4	1%	7.2	49
宗谷	44	1%	62	42	42	1%	59	44	2	0%	2.8	43
北網	106	3%	45	33	83	3%	36	32	23	5%	9.8	53
遠紋	31	1%	41	31	25	1%	33	30	6	1%	7.9	50
十勝	200	6%	57	39	171	6%	49	39	29	6%	8.3	51
釧路	111	3%	45	33	96	3%	39	33	15	3%	6.1	48
根室	27	1%	34	27	23	1%	29	28	4	1%	5.0	46
出典	平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 1-5 一般病床数、療養病床数、精神病床数

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	896,277		700	(226)	324,828		254	(196)	339,459		265	(206)
北海道	53,348	6.0%	969	62	23,122	7.1%	420	58	20,498	6.0%	372	55
南渡島	4,310	8%	1,071	66	1,242	5%	309	53	1,893	9%	470	60
南檜山	265	0%	1,008	64	126	1%	479	61	48	0%	183	46
北渡島檜山	608	1%	1,481	85	362	2%	882	82	100	0%	244	49
札幌	23,776	45%	1,015	64	9,583	41%	409	58	8,434	41%	360	55
後志	1,841	3%	790	54	1,155	5%	496	62	1,378	7%	592	66
南空知	1,299	2%	714	51	758	3%	417	58	836	4%	460	59
中空知	1,117	2%	941	61	851	4%	717	74	1,233	6%	1,039	88
北空知	358	1%	1,003	63	389	2%	1,089	93	509	2%	1,426	106
西胆振	2,062	4%	1,030	65	1,664	7%	831	79	1,544	8%	771	75
東胆振	1,456	3%	674	49	740	3%	343	55	640	3%	296	52
日高	432	1%	574	44	277	1%	368	56	268	1%	356	54
上川中部	4,659	9%	1,155	70	1,806	8%	448	60	1,213	6%	301	52
上川北部	663	1%	926	60	291	1%	406	58	165	1%	230	48
富良野	332	1%	730	51	140	1%	308	53	170	1%	374	55
留萌	466	1%	835	56	240	1%	430	59	99	0%	177	46
宗谷	548	1%	774	53	174	1%	246	50	100	0%	141	44
北網	2,249	4%	963	62	718	3%	307	53	523	3%	224	48
遠紋	676	1%	885	58	531	2%	695	72	87	0%	114	43
十勝	3,346	6%	960	62	943	4%	271	51	511	2%	147	44
釧路	2,508	5%	1,014	64	993	4%	402	58	531	3%	215	48
根室	377	1%	468	40	139	1%	173	46	216	1%	268	50
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月			

表 1-6 救命救急センター数、がん診療拠点病院数、全身麻酔件数

二次医療圏	救命救急センター	県内シェア	人口100万当り	偏差値*全国は標準偏差	がん診療拠点病院	県内シェア	人口100万当り	偏差値*全国は標準偏差	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	204		1.59	(2.22)	377		2.95	(3.5)	2,577,228		2,013	(947)
北海道	8	3.9%	1.5	49	20	5.3%	3.6	52	167,784	6.5%	3,047	61
南渡島	1	13%	2.5	54	2	10%	5.0	56	11,592	7%	2,880	59
南檜山	0	0%	0	43	0	0%	0	42	240	0%	913	38
北渡島檜山	0	0%	0	43	0	0%	0	42	348	0%	848	38
札幌	3	38%	1.3	49	8	40%	3.4	51	90,972	54%	3,884	70
後志	0	0%	0	43	0	0%	0	42	4,152	2%	1,782	48
南空知	0	0%	0	43	0	0%	0	42	2,796	2%	1,537	45
中空知	0	0%	0	43	1	5%	8.4	65	3,348	2%	2,821	59
北空知	0	0%	0	43	0	0%	0	42	276	0%	773	37
西胆振	0	0%	0	43	1	5%	5.0	56	6,444	4%	3,218	63
東胆振	0	0%	0	43	1	5%	4.6	55	3,924	2%	1,816	48
日高	0	0%	0	43	0	0%	0	42	564	0%	749	37
上川中部	1	13%	2.5	54	3	15%	7.4	63	14,712	9%	3,648	67
上川北部	0	0%	0	43	0	0%	0	42	1,836	1%	2,563	56
富良野	0	0%	0	43	0	0%	0	42	600	0%	1,319	43
留萌	0	0%	0	43	0	0%	0	42	432	0%	774	37
宗谷	0	0%	0	43	0	0%	0	42	696	0%	983	39
北網	1	13%	4.3	62	1	5%	4.3	54	4,584	3%	1,962	49
遠紋	0	0%	0	43	0	0%	0	42	1,200	1%	1,572	45
十勝	1	13%	2.9	56	1	5%	2.9	50	8,436	5%	2,420	54
釧路	1	13%	4.0	61	2	10%	8.1	65	9,852	6%	3,984	71
根室	0	0%	0	43	0	0%	0	42	780	0%	968	39
出典	平成24年10月 救急医学会				平成22年10月 独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 1-7 医師数（総数、病院勤務医数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院勤務 医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	321,268		251	(87)	199,499		156	(63)	121,769		95	(31)
北海道	13,054	4.1%	237	48	9,111	4.6%	165	52	3,943	3.2%	72	42
南渡島	921	7%	229	47	591	6%	147	49	330	8%	82	46
南檜山	34	0%	127	36	25	0%	94	40	9	0%	33	30
北渡島檜山	74	1%	180	42	66	1%	161	51	8	0%	18	25
札幌	6,562	50%	280	53	4,544	50%	194	56	2,018	51%	86	47
後志	450	3%	193	43	261	3%	112	43	188	5%	81	45
南空知	325	2%	178	42	206	2%	113	43	118	3%	65	40
中空知	269	2%	227	47	217	2%	183	54	52	1%	44	33
北空知	80	1%	224	47	55	1%	155	50	25	1%	69	42
西胆振	470	4%	235	48	353	4%	176	53	117	3%	58	38
東胆振	403	3%	186	43	256	3%	118	44	147	4%	68	41
日高	106	1%	140	37	69	1%	92	40	36	1%	48	35
上川中部	1,242	10%	308	57	914	10%	227	61	328	8%	81	46
上川北部	136	1%	190	43	103	1%	144	48	33	1%	47	34
富良野	69	1%	151	39	48	1%	105	42	21	1%	47	34
留萌	95	1%	170	41	66	1%	118	44	29	1%	52	36
宗谷	85	1%	121	35	64	1%	90	40	22	1%	30	29
北網	432	3%	185	42	314	3%	135	47	118	3%	50	36
遠紋	130	1%	170	41	100	1%	131	46	30	1%	39	32
十勝	642	5%	184	42	452	5%	130	46	190	5%	55	37
釧路	442	3%	179	42	338	4%	137	47	104	3%	42	33
根室	88	1%	109	34	66	1%	82	38	22	1%	27	28
出典	病院勤務医数と診療所医師数の合計				平成23年病院報告 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 1-8 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,039,059		812	(270)	858,317		671	(227)	180,742		141	(71)
北海道	58,524	5.6%	1,063	59	50,830	5.9%	923	61	7,695	4.3%	140	50
南渡島	4,730	8%	1,175	63	4,088	8%	1,016	65	642	8%	159	53
南檜山	195	0%	740	47	181	0%	688	51	14	0%	53	37
北渡島檜山	510	1%	1,242	66	485	1%	1,182	73	25	0%	60	38
札幌	25,047	43%	1,069	60	22,173	44%	947	62	2,874	37%	123	47
後志	2,363	4%	1,014	58	1,944	4%	835	57	419	5%	180	55
南空知	1,791	3%	985	56	1,426	3%	784	55	365	5%	201	58
中空知	1,659	3%	1,398	72	1,520	3%	1,281	77	139	2%	117	47
北空知	517	1%	1,447	74	474	1%	1,328	79	42	1%	119	47
西胆振	2,630	4%	1,313	69	2,301	5%	1,149	71	328	4%	164	53
東胆振	2,096	4%	970	56	1,655	3%	766	54	441	6%	204	59
日高	461	1%	612	43	403	1%	535	44	59	1%	78	41
上川中部	5,013	9%	1,243	66	4,356	9%	1,080	68	657	9%	163	53
上川北部	682	1%	952	55	580	1%	810	56	102	1%	142	50
富良野	346	1%	760	48	317	1%	696	51	29	0%	63	39
留萌	433	1%	776	49	353	1%	632	48	80	1%	144	50
宗谷	514	1%	726	47	437	1%	618	48	77	1%	108	45
北網	2,374	4%	1,016	58	1,955	4%	837	57	419	5%	179	55
遠紋	711	1%	931	54	642	1%	840	57	69	1%	91	43
十勝	3,273	6%	939	55	2,789	5%	800	56	484	6%	139	50
釧路	2,716	5%	1,098	61	2,352	5%	951	62	364	5%	147	51
根室	466	1%	578	41	400	1%	496	42	66	1%	81	42
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成23年病院報告 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

ここでの「看護師」は「看護師」＋「准看護師」

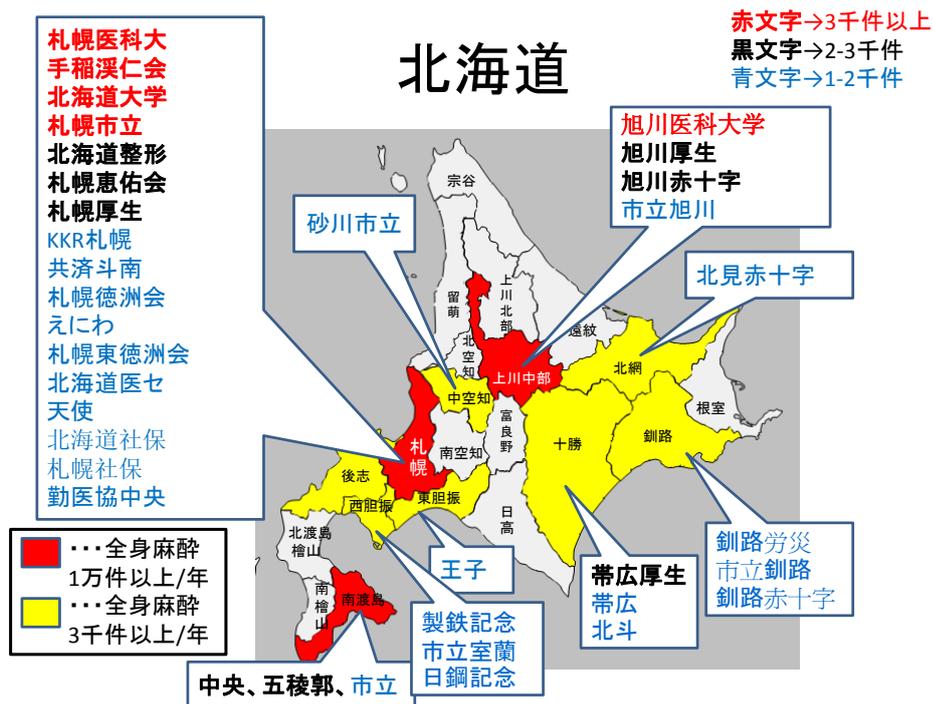
表 1-9 療法士数と回復期病床数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	95,471		74.6	(41)	63,959		49.9	(44)
北海道	4,991	5.2%	91	54	3,126	4.9%	57	52
南渡島	391	8%	97	55	322	10%	80	57
南檜山	3	0%	11	35	0	0%	0	39
北渡島檜山	35	1%	85	53	0	0%	0	39
札幌	2,478	50%	106	58	1,394	45%	60	52
後志	198	4%	85	53	180	6%	77	56
南空知	107	2%	59	46	44	1%	24	44
中空知	84	2%	71	49	60	2%	51	50
北空知	18	0%	50	44	0	0%	0	39
西胆振	274	5%	137	65	194	6%	97	61
東胆振	157	3%	72	49	142	5%	66	54
日高	20	0%	26	38	0	0%	0	39
上川中部	414	8%	103	57	311	10%	77	56
上川北部	32	1%	45	43	28	1%	39	48
富良野	29	1%	64	47	0	0%	0	39
留萌	23	0%	41	42	35	1%	63	53
宗谷	29	1%	41	42	0	0%	0	39
北網	193	4%	83	52	25	1%	11	41
遠紋	21	0%	28	39	0	0%	0	39
十勝	267	5%	76	50	251	8%	72	55
釧路	196	4%	79	51	140	4%	57	52
根室	23	0%	29	39	0	0%	0	39
出典	平成23年病院報告 厚生労働省 平成23年10月				平成25年3月全国回復期リハ病床連絡協 議会			

表 1-10 在宅医療施設（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1万人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1万人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1万人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,058		10.0	(5.4)	779		0.55	(0.6)	6,814		4.84	(1.5)
北海道	334	2.4%	5.0	41	43	5.5%	0.6	51	301	4.4%	4.5	48
南渡島	29	9%	5.2	41	1	2%	0.2	44	19	6%	3.4	41
南檜山	0	0%	0	31	0	0%	0	41	2	1%	4.3	47
北渡島檜山	1	0%	1.4	34	0	0%	0	41	3	1%	4.2	45
札幌	165	49%	7.2	45	20	47%	0.9	55	122	41%	5.4	53
後志	32	10%	8.5	47	6	14%	1.6	67	15	5%	4.0	44
南空知	17	5%	5.8	42	0	0%	0	41	12	4%	4.1	45
中空知	5	1%	2.5	36	0	0%	0	41	10	3%	4.9	50
北空知	1	0%	1.5	34	0	0%	0	41	1	0%	1.5	28
西胆振	1	0%	0.3	32	0	0%	0	41	10	3%	3.4	41
東胆振	7	2%	2.9	37	1	2%	0.4	48	9	3%	3.8	43
日高	2	1%	1.9	35	1	2%	0.9	56	6	2%	5.6	55
上川中部	34	10%	6.3	43	7	16%	1.3	62	21	7%	3.9	44
上川北部	5	1%	4.2	39	1	2%	0.8	55	6	2%	5.1	52
富良野	2	1%	3.1	37	0	0%	0	41	3	1%	4.6	49
留萌	4	1%	4.4	40	1	2%	1.1	58	4	1%	4.4	47
宗谷	1	0%	1.0	33	0	0%	0	41	6	2%	6.3	59
北網	9	3%	2.9	37	1	2%	0.3	46	15	5%	4.8	50
遠紋	0	0%	0	31	0	0%	0	41	3	1%	2.4	34
十勝	14	4%	3.2	37	2	5%	0.5	48	19	6%	4.4	47
釧路	5	1%	1.7	35	1	2%	0.3	46	10	3%	3.3	40
根室	0	0%	0	31	1	2%	1.1	59	5	2%	5.7	55
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成24年12月			

図 1-1 医療圏別基幹病院別全身麻酔手術数



(平成 23 年医療施設調査(10 月 1 か月分)の数値に 12 を掛けたもの)

表 1-11 総高齢者ベッド数、介護保険施設ベッド数、総高齢者住宅数

二次医療圏	総高齢者ベッド数				介護保険施設ベッド数				総高齢者住宅数			
	総高齢者 ベッド数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険 施設 ベッド数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	総高齢者 住宅数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,696,557		121	(23.2)	936,747		67	(12.5)	759,810		54	(20.5)
北海道	91,841	5.4%	137	57	44,864	4.8%	67	50	46,977	6.2%	70	58
南渡島	7,492	8%	135	56	3,478	8%	62	47	4,014	9%	72	59
南檜山	630	1%	137	57	399	1%	87	66	231	0%	50	48
北渡島檜山	801	1%	111	46	548	1%	76	57	253	1%	35	41
札幌	33,317	36%	146	61	14,110	31%	62	46	19,207	41%	84	65
後志	5,234	6%	139	58	2,802	6%	74	56	2,432	5%	65	55
南空知	4,160	5%	141	59	2,368	5%	80	61	1,792	4%	61	53
中空知	2,834	3%	139	58	1,595	4%	78	59	1,239	3%	61	53
北空知	1,048	1%	153	64	676	2%	99	76	372	1%	54	50
西胆振	3,640	4%	125	52	2,078	5%	71	54	1,562	3%	53	50
東胆振	3,471	4%	146	61	1,655	4%	69	52	1,816	4%	76	61
日高	1,151	1%	107	44	738	2%	69	52	413	1%	39	42
上川中部	7,820	9%	145	61	3,411	8%	63	47	4,409	9%	82	64
上川北部	1,526	2%	129	54	874	2%	74	56	652	1%	55	51
富良野	766	1%	119	49	431	1%	67	50	335	1%	52	49
留萌	1,080	1%	118	49	597	1%	65	49	483	1%	53	49
宗谷	1,143	1%	120	50	827	2%	87	66	316	1%	33	40
北網	3,979	4%	128	53	2,025	5%	65	49	1,954	4%	63	54
遠紋	1,345	1%	109	45	733	2%	59	44	612	1%	50	48
十勝	5,976	7%	137	57	3,311	7%	76	57	2,665	6%	61	53
釧路	3,585	4%	119	49	1,751	4%	58	43	1,834	4%	61	53
根室	843	1%	96	39	457	1%	52	38	386	1%	44	45
出典	田村プランニング(平成25年1月データ) 介護保険施設ベッド数と総高齢者住宅数の合計				田村プランニング(平成25年1月データ) 老人保健施設(老健)収容数、特別養護老人ホーム(特養)収容数、介護療養病床数の合計				田村プランニング(平成25年1月データ) 有料老人ホーム、グループホーム、高齢者住宅、その他の合計			

表 1-12 老人保健施設（老健）収容数、特別養護老人ホーム（特養）収容数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設（老健）				特別養護老人ホーム（特養）				介護療養病床数			
	収容数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	収容数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	350,538		25	(5.8)	501,495		36	(10.0)	84,714		6.0	(5.3)
北海道	16,150	4.6%	24	49	22,984	4.6%	34	49	5,730	6.8%	8.6	55
南渡島	1,524	9%	27	54	1,697	7%	30	45	257	4%	4.6	47
南檜山	80	0%	17	37	319	1%	69	84	0	0%	0	39
北渡島檜山	170	1%	24	48	378	2%	52	67	0	0%	0	39
札幌	5,307	33%	23	47	5,876	26%	26	40	2,927	51%	12.9	63
後志	1,034	6%	27	54	1,268	6%	34	48	500	9%	13.3	64
南空知	949	6%	32	63	1,290	6%	44	58	129	2%	4.4	47
中空知	444	3%	22	45	882	4%	43	58	269	5%	13.2	64
北空知	176	1%	26	51	390	2%	57	71	110	2%	16.1	69
西胆振	800	5%	27	54	928	4%	32	46	350	6%	12.0	61
東胆振	680	4%	29	56	817	4%	34	49	158	3%	6.6	51
日高	175	1%	16	35	539	2%	50	65	24	0%	2.2	43
上川中部	1,291	8%	24	48	1,520	7%	28	43	600	10%	11.1	60
上川北部	249	2%	21	43	605	3%	51	66	20	0%	1.7	42
富良野	128	1%	20	41	280	1%	43	58	23	0%	3.6	45
留萌	129	1%	14	31	450	2%	49	63	18	0%	2.0	42
宗谷	169	1%	18	38	658	3%	69	83	0	0%	0	39
北網	619	4%	20	41	1,343	6%	43	57	63	1%	2.0	42
遠紋	226	1%	18	39	507	2%	41	55	0	0%	0	39
十勝	1,283	8%	29	58	1,882	8%	43	57	146	3%	3.3	45
釧路	597	4%	20	41	1,078	5%	36	50	76	1%	2.5	43
根室	120	1%	14	31	277	1%	31	46	60	1%	6.8	51
出典	田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)			

表 1-13 有料老人ホーム、グループホーム、高齢者住宅

二次医療圏	有料老人ホーム				グループホーム				高齢者住宅			
	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	313,116		22.3	(16.7)	171,021		12.2	(5.9)	88,421		6.3	(4.0)
北海道	13,897	4.4%	20.7	49	13,745	8.0%	20.5	64	6,662	7.5%	9.9	59
南渡島	1,308	9%	23.5	51	1,019	7%	18.3	60	572	9%	10.3	60
南檜山	0	0%	0	37	87	1%	18.9	61	0	0%	0	34
北渡島檜山	0	0%	0	37	126	1%	17.4	59	0	0%	0	34
札幌	7,614	55%	33.4	57	4,752	35%	20.9	65	4,313	65%	18.9	82
後志	375	3%	10.0	43	975	7%	25.9	73	196	3%	5.2	47
南空知	352	3%	11.9	44	448	3%	15.2	55	202	3%	6.9	51
中空知	213	2%	10.5	43	276	2%	13.5	52	101	2%	5.0	47
北空知	44	0%	6.4	41	99	1%	14.5	54	0	0%	0	34
西胆振	205	1%	7.0	41	477	3%	16.3	57	110	2%	3.8	44
東胆振	277	2%	11.6	44	588	4%	24.7	71	150	2%	6.3	50
日高	46	0%	4.3	39	135	1%	12.6	51	0	0%	0	34
上川中部	1,557	11%	28.9	54	1,556	11%	28.9	78	344	5%	6.4	50
上川北部	88	1%	7.5	41	189	1%	16.0	56	30	0%	2.5	41
富良野	96	1%	14.9	46	72	1%	11.1	48	27	0%	4.2	45
留萌	185	1%	20.2	49	153	1%	16.7	58	0	0%	0	34
宗谷	0	0%	0	37	113	1%	11.8	49	88	1%	9.2	57
北網	230	2%	7.4	41	770	6%	24.7	71	141	2%	4.5	46
遠紋	18	0%	1.5	38	197	1%	16.0	56	65	1%	5.3	47
十勝	615	4%	14.1	45	977	7%	22.4	67	208	3%	4.8	46
釧路	634	5%	21.1	49	601	4%	20.0	63	95	1%	3.2	42
根室	40	0%	4.5	39	135	1%	15.3	55	20	0%	2.3	40
出典	田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)			

表 1-14 ~64歳人口、75歳以上人口の推計

二次医療圏	～64歳人口			2010年を100とした ～64歳人口			75歳以上人口			2010年を100とした 75歳以上人口		
	2020	2030	2040	2020	2030	2040	2020	2030	2040	2020	2030	2040
全国	88,023,301	79,833,026	69,345,059	89	81	70	18,778,797	22,774,034	22,232,154	133	162	158
北海道	3,481,517	3,005,698	2,482,745	84	72	60	881,081	1,091,485	1,050,067	131	163	157
南渡島	231,846	191,891	151,446	79	66	52	64,518	73,831	65,118	116	133	117
南檜山	12,438	9,170	6,632	70	52	38	4,961	5,120	4,235	108	111	92
北渡島檜山	21,501	17,367	14,071	76	62	50	7,430	7,938	6,903	103	110	96
札幌	1,647,032	1,473,767	1,246,861	89	79	67	347,770	478,063	497,474	153	210	219
後志	123,389	99,838	76,746	77	62	48	40,974	44,054	36,651	109	117	97
南空知	96,196	76,233	58,965	76	61	47	33,666	36,736	32,642	114	125	111
中空知	59,170	46,785	35,899	74	59	45	23,077	24,138	20,168	113	118	99
北空知	16,705	12,731	9,413	73	55	41	7,777	7,955	6,672	114	116	98
西胆振	114,193	99,298	82,592	81	71	59	36,341	40,027	33,215	124	137	114
東胆振	140,548	124,645	106,063	85	75	64	31,476	40,575	37,573	132	170	158
日高	42,835	34,725	27,305	78	63	50	11,941	13,296	11,860	111	124	111
上川中部	239,122	202,121	163,201	81	69	56	70,750	85,301	78,056	131	158	145
上川北部	40,034	33,853	28,179	81	68	57	13,199	13,737	11,943	112	116	101
富良野	27,842	23,691	19,599	84	71	59	7,416	8,110	7,642	115	126	118
留萌	28,051	21,540	16,007	73	56	42	10,317	10,971	9,281	112	120	101
宗谷	40,757	33,350	26,707	78	64	51	10,980	12,613	11,340	115	132	119
北網	139,783	116,560	94,307	81	68	55	39,048	46,849	44,376	125	150	142
遠紋	40,963	32,953	26,072	77	62	49	13,757	14,534	12,738	112	118	103
十勝	223,329	194,067	163,647	85	74	63	56,576	68,798	67,876	130	158	155
釧路	144,121	117,168	92,251	78	64	50	37,937	45,266	41,080	126	151	137
根室	51,662	43,945	36,782	83	71	59	11,170	13,573	13,224	127	154	150
出典	平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月 日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月											

表 1-15 2010年→40年の医療・介護の需要予測

二次医療圏	地域タイプ	2010→40			総介護需要 増減率
		総医療需要 増減率	64歳以下 医療需要 増減率	75歳以上 医療需要 増減率	
全国		10%	-30%	58%	50%
北海道		4%	-40%	57%	48%
南渡島	地方都市型	-16%	-48%	17%	12%
南檜山	過疎型	-34%	-62%	-8%	-12%
北渡島檜山	過疎型	-27%	-50%	-4%	-8%
札幌	大都市型	30%	-33%	119%	104%
後志	地方都市型	-26%	-52%	-3%	-6%
南空知	過疎型	-21%	-53%	11%	5%
中空知	過疎型	-28%	-55%	-1%	-6%
北空知	過疎型	-30%	-59%	-2%	-7%
西胆振	地方都市型	-17%	-41%	14%	8%
東胆振	地方都市型	4%	-36%	58%	48%
日高	過疎型	-20%	-50%	11%	6%
上川中部	地方都市型	-3%	-44%	45%	37%
上川北部	過疎型	-22%	-43%	1%	-3%
富良野	過疎型	-11%	-41%	18%	14%
留萌	過疎型	-29%	-58%	1%	-4%
宗谷	過疎型	-18%	-49%	19%	13%
北網	地方都市型	-5%	-45%	42%	35%
遠紋	過疎型	-24%	-51%	3%	-1%
十勝	地方都市型	4%	-37%	55%	47%
釧路	地方都市型	-13%	-50%	37%	28%
根室	過疎型	-4%	-41%	50%	40%
出典	平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月 日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 平成23年度 介護給付費実態調査報告 厚生労働省 平成22年度 国民医療費 厚生労働省				

※ここでの医療需要と介護需要の予測は費用ベースに年齢層別の人口増加を加味したものであり、人々の医療受療率、介護サービス受給率が2010年時点と変わらないことを前提に算出している。

図 1-2 北海道（西部）2010年→40年医療介護需要の増減予測

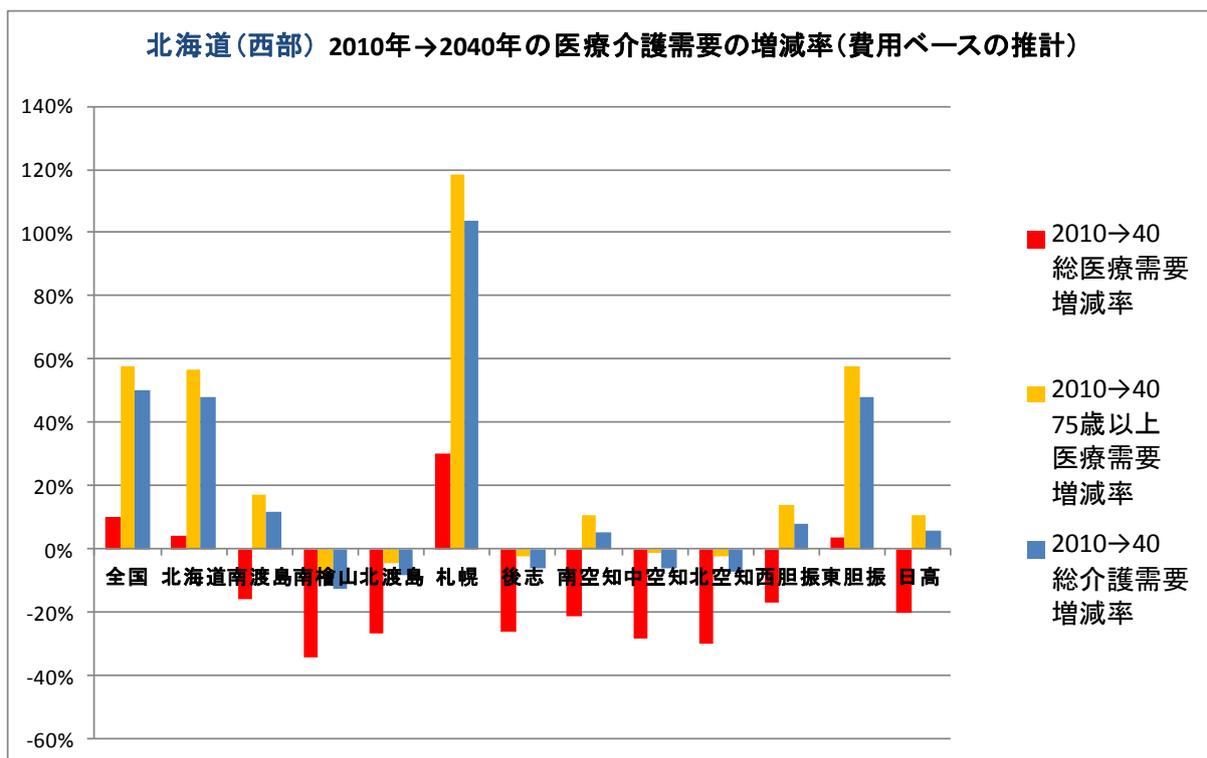


図 1-3 北海道（東部）2010年→40年医療介護需要の増減予測

